

CAMインドシナ5カ国ファンド

追加型投信／海外／資産複合

Capital Asset Management

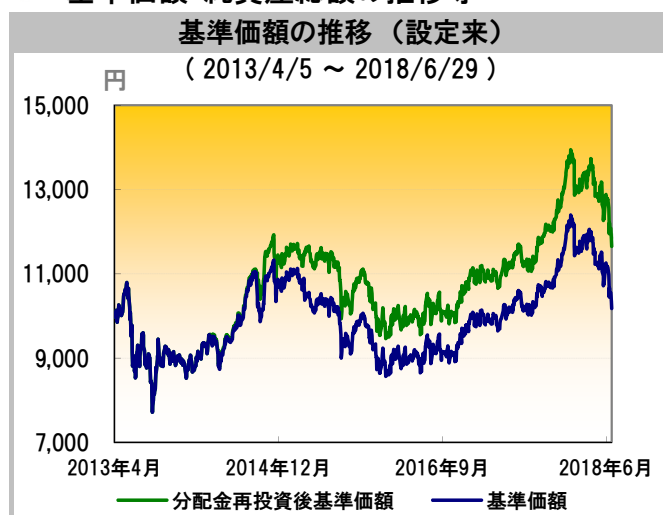
【6月の市況ダイジェスト】

タイ株式市場は下落、SET指数の月間騰落率は前月末比+▲7.61%の1,595.58ポイントで引けました。
ベトナム株式市場は下落、VN指数の月間騰落率は前月比▲1.08%の960.78ポイントで引けました。

商品概要

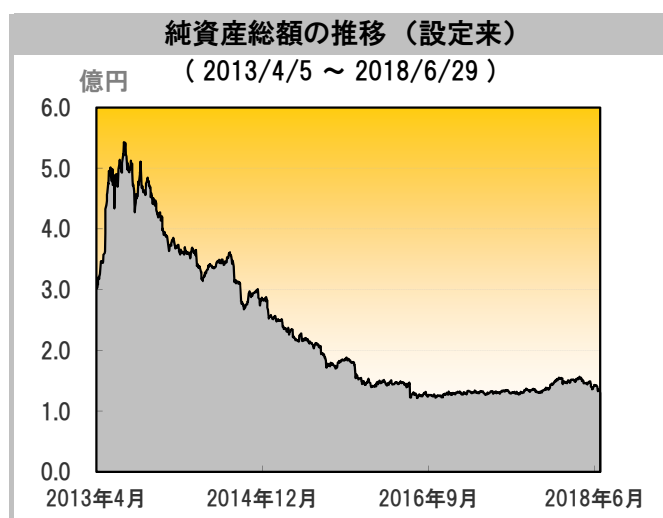
商品概要	
商品分類	追加型投信／海外／資産複合
投資対象	主として、インドシナ5カ国の株式を投資対象とします。 インドシナ5カ国とは、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーを指します。
設定日	2013年4月5日
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年4月5日および10月5日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額・純資産総額の推移等



ファンドの現状 (2018/6/29)	
基準価額	10,181 円
前月末比	-571 円
純資産総額	1.30 億円
前月末比	-0.07 億円

分配実績（1万口あたり、税引き前）		
第1期から第5期		1,050 円
第6期	2016年4月5日	0 円
第7期	2016年10月5日	0 円
第8期	2017年4月5日	0 円
第9期	2017年10月5日	200 円
第10期	2018年4月5日	200 円
合計		1,450 円



運用実績	
期間	ファンド
1カ月	-5.3%
3カ月	-12.6%
6カ月	-10.6%
1年	1.5%
設定来	16.5%

※分配金は再投資したものと計算しています。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。
記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

CAMインドシナ5カ国ファンド

追加型投信／海外／資産複合

Capital Asset Management

株式と為替の推移

株式市場

主要投資対象国の株価指数の推移
(2013/4/5 ~ 2018/6/29)

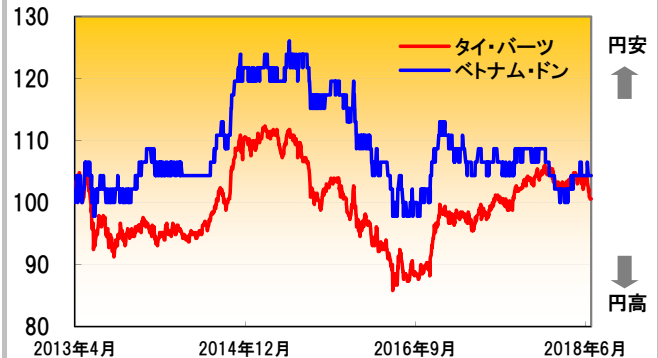


※ 2013年4月5日の値を100として指数化しています。

出所：ブルームバーグのデータをもとに当社が加工して作成。

為替市場

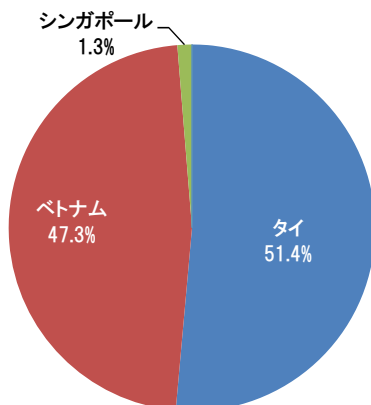
主要投資対象国の通貨 対円レートの推移
(2013/4/5 ~ 2018/6/29)



※ 2013年4月5日の値を100として指数化しています。

出所：投資信託協会

組入比率(国別構成比率)



※未収・未払い金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※上記の円グラフの組入比率は現金を除いた組入比率です。

組入上位10銘柄

銘柄名	国	業種	対純資産比率
バンコク・ドゥシット・メディカル・サービス	タイ	ヘルスケア機器・サービス	7.8%
ランド・アンド・ハウジズ	タイ	不動産	7.2%
アドバンスト・インフォ・サービス	タイ	電気通信サービス	7.1%
バンコク銀行	タイ	銀行	6.3%
ドンハイ・ベンチャー	ベトナム	素材	5.2%
APタイランド	タイ	不動産	5.1%
バムルンロード病院	タイ	ヘルスケア機器・サービス	4.4%
HDバンク	ベトナム	銀行	4.3%
ダットサイン・グループ	ベトナム	不動産	3.9%
FPT	ベトナム	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.9%

組入銘柄数

株式	28
----	----

組入上位5業種

業種構成	構成比率
不動産	18.0%
銀行	14.7%
ヘルスケア機器・サービス	13.6%
素材	10.2%
電気通信サービス	7.9%

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

CAMインドシナ5カ国ファンド

追加型投信／海外／資産複合

Capital Asset
Management

■株式市場

◎タイ

6月のタイ株式市場は外部要因の影響を受け軟調な相場展開となりました。米国の利上げや米中貿易戦争への懸念の高まりが悪材料になりました。6月のSET指数の月間騰落率は前月末比7.61%安となり、1,595.58ポイントで引けています。

◎ベトナム

6月のベトナム株式市場は、米国と中国の貿易紛争悪化懸念や米国の利上げなどの材料を背景に軟調な相場展開となりました。6月末時点のVN指数は前月末比1.08%安の960.78ポイントで引けています。

■運用状況

株式組入比率は、市場の流動性や個別銘柄の成長性を考慮しながら、高位を維持し、6月末時点での保有銘柄数は28となりました。国別構成比率は、タイ51.4%、ベトナム47.3%、シンガポール1.3%(国別構成比率上はシンガポールとなっていますが、実質には、シンガポール証券取引所上場のミャンマー大手不動産会社、ヨマ・ストラテジックホールディングスに投資しています。)となっています。業種別組入比率は、不動産セクター18.0%、銀行セクター14.7%、ヘルスケアセクター13.6%としました。

6月末の基準価額は10,181円、前月末比-571円(5.3%安)となりました。基準価額に対して、保有株式とタイパーツ安/円高がマイナス寄与となりました。

■今後の見通し

◎タイ

今後のタイ株式市場の見通しについては、タイにおける政治の安定や、インフレの安定、資源価格の底固めが株価の下支え要因になると考えます。加えて、輸出の拡大と観光業の好調がタイ経済の成長エンジンになる中、国内での大規模なインフラ投資計画を含む景気刺激策の効果が株式市場の支援材料になるとみています。引き続き景気や政治の動向等に注意しながら、ファンダメンタルズが良好で割安な銘柄への選別投資を行っていく方針です。リスク要因としては、トランプ米国政権による保護主義政策などが挙げられます。

◎ベトナム

短期的には株式相場は下落しましたが、特に好調なベトナム企業や経済に変化はなく、株式市場は米国と中国の貿易紛争悪化懸念を背景に利益確定売りによって下落した状況となっています。経済については引き続き好調で、2018年第2四半期(4~6月)の国内総生産(GDP)実質成長率は、前年同期比6.79%でした。英国の格付け会社フィッチレーティングスは、ベトナムが高い経済成長率を維持すると共に、マクロ経済の安定性を確保することができれば、ベトナムの格付けを非投資適格級から投資適格級に引き上げるとの見方を示しています。リスク要因としては、トランプ米国政権による保護主義政策などが挙げられます。

CAMインドシナ5カ国ファンド

追加型投信／海外／資産複合

Capital Asset Management

◆ ファンドの特色

■ インドシナ諸国への投資

今後、高い経済成長が期待できる、インドシナ5カ国の株式等に投資します。
インドシナ5カ国とは、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーを指します。

■ 投資助言の活用

運用にあたっては、現地の経済や市場に精通したCIMインベストメント社からのアドバイスを活用します。

◆ ファンドに係わるリスクについて

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク

当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク

当ファンドは、主にベトナム・ドン、カンボジア・リエル、ラオス・キープ、タイ・バーツ、ミャンマー・チャット建ての株式に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

カントリーリスク

海外の株式に投資する場合には、投資対象国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

信用リスク

株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

CAMインドシナ5カ国ファンド
追加型投信／海外／資産複合

Capital Asset Management

◆ お客様にご負担いただく費用

①ご購入時に直接ご負担いただく費用

■購入時手数料:お買付申込日の翌々営業日の基準価額に対して、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が個別に定める料率を乗じて得た金額

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額:解約請求日の翌々営業日の基準価額に対して0.3%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬:信託財産の純資産総額に対して年率2.2248%(税抜き2.06%)

■その他費用:有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用(手数料等)の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。

2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。

4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

◆ 委託会社その他関係法人の概要

■委託会社 : 信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第383号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社 : 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

■販売会社(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	協同一般投資顧問業協会	協会一般社団法人	金融先物取引業協会	第一種金融商品取引業協会	第一種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第44号	○		○		○	
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第62号	○					○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第164号	○			○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第195号	○	○	○	○	○	○